



孝經海義

仁徳
2382



門仁18
號1382
卷

孝經講義

孝經

善ク父母ニ事ルヲ孝ト云ナリ經ハ常ト云義ナリ
孝ハ天下萬世人ノ常道ナルヲ以テコレヲ經ト云
ナリ



自首至終於立身

大意

○ 首節ハ孔子門人ノ曾子ヘ孝ノ至徳要道
ナルヲケテ告ク聞カセ玉テ問答ノ語ニテ此書一篇
ノ発端ナリ

字訓

問ハヒト云義ナリ問居ハヒニテ居ルナリ侍ハ尊
貴ノ人ノ側ニハニヘルヲ云ナリ至徳ハ極至ノ徳ナリ

要道ハ切要ノ道ナリ知ハヤハラクナリ脛ハムツニシキナリ
敏ハ^{モト}固トシト云義不敏ハ遲鈍ヲ云ナリ復坐故
ノ坐ニ返ルヲ云身體ハ一身四體其大ナルヲ孝テ云髮
膚ハ毛髮肌膚其小ナル者ヲ云

解義

仲尼ハ孔子ノ字ナリ孔子問ニテ居玉フ時門人ノ曾
子其側ニ侍ヘリ居ラレタリ參ハ曾子ノ名ナリ孔
子參ト其名ヲ呼ヒテ告玉フナリ先王ハ昔シ聖德
ノ王者ナリ先王極至ノ德切要ノ道アリテ天下ヲ
治メ玉フ是即チ孝ノ一ナリ孝ハ父母ニ順フテ逆
ラハ又德ナリ故ニ天下ノ人コレニ化レテ順德ニナリ民
相互ニ知ラキ整レフシテ上下処ルトイフナリ故コレ



起シテ對ルル礼ナリ故ニ曾子席ヲ去リテ立テ
○參不敏ニシテコレヲ知ルニ足ラスト對ヘラレタリ
孔子重子テ仰セラルハ夫レ孝ハ德ノ本ナリ萬ツ
ノ德皆孝ヨリ生ス故ニコレヲ本ト云ナリ兄弟ノ道モ
夫婦ノ道モ朋友ノ道モ皆孝ヨリシテ起ル故ニ教
ノ所由生トイヘリ然レハ孝ノ義ハ甚大ナルト云テ
其說甚長シ汝故ノ坐ニ復ルヘシ吾其說ヲ諦
聞カセシトノ玉ヘリ人ノ生ルハ身體髮膚悉クコレ
ヨリ父母ヨリ受テ父母ノ遺軀ナレハ我カ身ナカフモ
コレヲ大事ニシテ幼少ノ時ヨリ少シニテモ衣ヲ付
カヌヤムニスルコレ孝ノ始ナリ其身ノ德義ヲシテ
其道ヲ行ヒ名ヲ後世ニ揚ケテ賢人君子ト稱セラレ
我カ身ノミナラス其父母ヲ顯ハスハ孝ノ終ノ事ナリ分

テ申セハ事親ニ始リテ孝子トナリ事君ニ中シテ忠
臣トナリ立身ニ終テ賢人トナルコレ孝ノ全キ
ナリトノタニヘリ

餘論

凡ソ人ハ生ラレ父母ニ受テ然レテ後我カ身アル時ハ
父母ハ我身ノ大本ナリ故ニ父母ヨリ重キハナク父母ヨ
リ尊キハナレ況ヤ生云日教養食ノ恩海嶽モ喻フル
ニ足ラス孝道ノ大ナル亦宜ナラスヤ

孝經講義

自愛親者至蓋天子之孝

大意

此ヨリ以下上天子ヨリ下庶人ニ至リテ各其身ニ當ル
孝ノ行ヒアルヲイヘリ此一節ハ天子ノ孝ヲ云ナリ

字訓

慢ハ侮慢ニテ人ヲアサトリ鹿略ニスルヲ云ナリ刑ハ儀
刑ナリ人ノノリキ本トナルヲ云ナリ

解義

親ハ父母ヲ云ナリ親ヲ愛スル者ハ其心ヲ推シ廣メ
テ遍リ諸人ヲ愛スル故決シテ人ヲ徳ト云フハナキヤ
リ又親ヲ敬レウヤニウ者ハ其心ヲ推シ廣メテ遍リ諸
人ヲ敬スルニ決シテ人ヲ慢リ鹿略ニスルト云フハナキ

ナリ我レ人ヲ愛スル時ハ人モ亦コレニ化シテ仁ニ興リ
皆人ヲ愛スルヤウナルナリ我レ人ヲ敬スル時ハ人モ亦
コレニ化シテ礼ニ興リ人ヲ敬スルヲ知ルナリコレヲ
愛敬事親盡ストイフナリ而シテ後至徳ノ教ハ
廣ク百姓ニテモ加ハリ及ヒ四海ノ外ニテモコレヲ
刑キ本トシテ皆コレニ化スルナリコレ益シ天子ノ
孝ナリ益ハ發詔ノ詞ナリ

餘論

天子ハ天下億兆ノ上ニ立玉フユヘ其御徳ノ及フ所
大極ナテ廣キナリ如此ニシテ然レテ後萬國ノ歡心
日ウ得テ天下安寧ニ長ク先祖宗廟ノ祭ホシ奉レ
玉コレ天子ノ孝ナル所以ナリ

自在上不驕至益諸侯之孝
大意

此一節ハ分ツテ諸侯ノ身ニ當ル孝ヲ説キ玉フナリ
孝訓

驕ハチゴリ我僂ナルヨ云ナリ節ハ財用ノ節限ヲ
云ナリ度ハ法度ナリ溢ハコボレウスルヲ云ナリ社ハ土
ノ神ヲ云稷ハ五穀ノ神ヲ云天子始テ諸侯ヲ封シ
玉フトキコレニ土ヲ賜ヒ國ニ歸テ社稷ヲ云テコレヲ祭ラ
シメ玉フナリ

解義

在上ハ一國臣民之上ニ在ルヲ云ナリ上ニ居ル者ハ兎角
高ブリ我僂ノ心起リ易キ者ナリヲ云ナリ我僂ナレハ一國

臣民コレニ背ヒテ乱ヲ興シ國危キニ至ルナリ然ルニ上ニ
在テモヲコリ我僂ヲセス其身ヲ謹ムトキハ其位高シ
トイヘ氏危キハナキナリ財用ノ節限ヲ制シ法度ヲ
謹ミ守ルトキハ財宝府庫ニ滿ルトイヘ氏コボレウス
ルト云フハナキナリ高キニ居テ危フカラサルハ長ク
諸侯ノ貴キヲ守ル所以ナリ財滿チテモコボレウスル
ナキハ長ク諸侯ノ富ヲ守ル所以ナリ富貴常ニ其
身ヲ離レズ然レテ後能ク其社稷ノ糸ヲ保チテ
其民人ヲ一和シテ國家安寧ナリコレ蓋諸侯ノ
孝ナリ蓋ハ堯語ノ辭ナリ

節論

始封ノ君命ヲ天子ニ受テ社稷アリ民人アリコレヲ
子孫ニ傳ヘテ長ク其富貴ヲ保ツル豈易クハ
且悲シミ玉フヘシ不孝此ヨリ大ナルハナキナリ然ラハ
則能其身ヲ謹ミ其民人ヲ和ケテ長ク先祖ノ社稷
ヲ保チ玉フコレ孝ノ大ナル者ナラスヤ

孝經

自^非先王之法服至蓋卿大夫之章也

大意

此一節ハ卿大夫ノ身ニ當ル所ノ孝ヲ説キ玉フナリ
字訓

法服ハ法度ノ服ヲ云法言ハ法度ノ言ヲ云擇
ハ選擇シテ毎事ルヲ云ナリ

解義

先王ノ定メ置キ玉ヘル法度ノ服ニ非レハ敢テ服セス
異形ノ服ヲ着サルヲ云ナリ先王ノ言ヒ玉フ法度
ノ詞ニ非レハ敢テ言ハス奇僻ノ言ヲ言ハサルヲ云
ナリ先王ノ行ヒ玉フ德行ニ非レハ敢テ行ハス不正
ノ行ヒシヲセサルヲ云ナリ是故ニ法ニ非レハ不言言ハ
必法ニ合ヒ道ニ非レハ行ハス行ヘハ必道ニ協フ口ニ
言フトコロ擇ビ毎事ツヘキ詞ナリ身ニ行フトコロ擇ビ
毎事ツヘキ行ナレ言滿天下トハ天下之中何クハ
ニイリテ言フトモ口ニ出^レ過^ルクノ言ナク天下イツ
ニテ後能先祖宗朝ノ祭ヲ守ル蓋卿大夫ノ孝
ナリ

餘論

卿大夫ハ上ニ其君アリ下ニ我カ臣民アリ能^ル礼法
ヲ守リ言行ヲ謹ミ上ハ罪ヲ其君ニ得不下ハ臣
民ノ為ニ怨ミ患ミル^レナクシテ然^レシテ後能長^ク
其宗朝ヲ守リテ先祖ノ祭ヲ奉スヘキナリ

六書
目録

孝經

自資於事父至蓋土之孝也

大意

此ノ二竹即ハ士ノ身ニ當リタル孝ヲ説キ玉フナリ

字訓

資トルナリ爵ハ位ナリ **當時** 御仕成シト云カ如シ禄

ハ土地ヲ賜ルナリ但シ月俸ノ如キハ月別賜ルトコロノ

扶持采ナリ

解義

父ニ事スル所ノ愛ヲ取テ母ニ事スル時ハ其母ヲ愛スル

父ニ事スル所ノ敬ヲ取テ母ニ事スル時ハ其母ヲ敬スル

故ニ母ニハ父ヲ愛スル所ノ愛ヲ取テコレニ事スルハ

非ス母ニハ愛リ主トシ君ヲ愛セストイフニハ非ス

君ニハ敬リ主トスルナリ又親ニ孝ナル心ヲ以テ君ニ

事ルトキハ則忠トナリ親ヲ敬スル心ヲ以テ長上ニ事ル

トキハ則順トナル此忠順ヲ失ハスレテ其上ニ事ルト

キハ罪ヲ上ニ得ルナレ然レテ後能ク常ニ其爵禄

ヲ保ツテ其命ヲ守ル此ノ蓋士ノ孝ナリ

餘論

凡人ノ生ルハ父有テ然レテ後生ル父無しハ生スル

中能ハズ故ニ父ハ生ノ本ナリ愛ト敬トヲ兼テコレニ事ス

ルハ父ヲ重シスルハ本ヲ一ニスル所以ナリ

孝經一 患不及者未之有也

自用天之道至 **朝經一章** 大意

此レ庶人ノ孝ヲ説キ且此一立早ヲ結フ此レ經文ノ終リヤリ

解義

庶人ハ君ニ事ルト云フナシ事フルトコロハ惟父母ノミナリ故ニ父母ヲ養長フヲ以テ孝トスルナリ父母ヲ養長フハ衣食ヲ足スニ在リ衣食ヲ足スハ農桑ヲ務ムルニ在リ農桑ヲ務ムルニ欲セハ用天之道因地利之利スニハアルヘカラス天ノ道ハ春ハ萬物ヲ生シ夏ハコレヲ長シ秋ハ斂メ冬ハ閉リコレ天ノ道ナリ用之トハ

地ノ利ハ高燥ハ燥濕ハ濕秋ハ收メ冬ハ藏スノ類コレナリ高燥地ハ植ヘ秋稻ノ類下ク濕ヒタル地ハ植ルカ如キコレナリ天道地利ニ順ヒ五穀桑麻各其生ヲ遂ケ然レテ後衣食足ルヘシ衣食足レテ父母ヲ養長フヲ得ヘキナリ又我カ身ヲ謹テ刑ニ墮ルナク財用ヲ節限シテ貧窮ニ至ルナク然レテ後能ク父母ヲ養長フヲ得ヘシ此庶人ノ孝ナリ此レヨリ以上既ニ天子ヨリ庶人ニ至ルニテ五等ノ孝ヲ説キ於是是ヲ結ンテ曰自天子已下至于庶人孝無終始而患不及者未之有也始於事親終於立身ノ終始全備ロス **親ニ事**ヘテモ我身ヲ誤リ兵刑ナトノ禍ニカハリテハ孝ナラスヘカラスナル **訣**ヲ深ク戒シメ玉フナリ

餘論

此より以上ヲ經トシ此以下ヲ傳トシタルハ朱子ノ定メラ
レタル所ナリ朱子以爲ラク此章之首統テ論孝之終
始中陳自天子至庶人之孝未結之戒孝無終始首
尾相應次第相承一時之言無疑此以下雜引傳記
以親上文乃孝經之傳也ト朱子此言蓋其正ヲ得
タリト云ヘシ

孝經一
自子曰君子之教以孝也至如此其大者乎

大意

傳ノ第一章ニテ經文ノ至徳以順天下ト云ノ
意ヲ解釈シタルモノナリ

字訓

愷ハ樂ナリ愷ハ易ナリ愷愷ハ樂易ノ徳アルヲ云ナ

解義

此ノ君子モ亦先王ヲ云タルモノナリ古ヘノ君子人ニ教
ルニ孝ヲ以レ玉フハ天下萬億ノ人家ニ徃キテ毎
日其人ヲ見テ孝ノ行ヒ様ヲ告聞カセ玉フニハ非ルナリ
教ルニ孝道ヲ以テレ玉フトキハ天下中ノ人ノ子タル
者皆其父ヲ敬スルヲ知ルナリコレヲ敬天下之爲
人父者ヲ敬ト云教ルニ愷ノ道ヲ以テレ玉フトキハ天
下中ノ人ノ弟タル者皆其兄ヲ敬スルヲ知ルナリコレヲ

敬天下之為人兄者ト云教ルニ臣ノ道ヲ以レ玉フト
キハ天下中ノ人臣名者皆其君ヲ敬スルヲ知ルナ
リコレヲ敬天下之為人君者ト云詩ニ所謂ル愷悌
君子長之父母トアルハ愷悌ノ徳アハ君子ハ萬民
仰之父母ノ如シトナリ至徳ヲ以テ教トシ玉フニ非ニハ
孰レカ能ク天下萬民ノ心ヲ順ニスルヲ如此大ナラヤ
トコレヲ賛美シタルナリ

餘論

君子自家ヲ出ズレテ其教天下萬民ニ行届
クヲ如此至徳タル所以ナリ

孝子經

自子曰教民親愛至此之謂要道
大意

解義

此章ハ經文要道ノワケヲ説キタルナリ

孝ハ親^{父母}ヲ親ミ愛スル道ナリ故ニ民ノ親愛ヲ教ハ
孝子ヨリ善キハナキナリ悌ハ兄ヲ敬シ長上ニ順フノ道ナ
リ故ニ民ノ禮順ヲ教ユルハ悌ヨリ善キハナキナリ孝悌
ハ人心ノ自然ニ在ルトコロヲ以テ其教ヲラシテ廣ハル
者ナリ樂ハ人心ヲ和ラクル所以ナリ故ニ天下暴厲ノ
風俗ヲ移シ易ヘテ善良和易ノ風俗トナスハ樂ヨリ
善キハナキナリ禮ハ上下尊卑ノ分ヲ明シレ其教ヘ敬
儀ヲ主トス故ニ上其君ヲ安シテ下其民ヲ治メント欲スル

禮ヨリ善キハナキナリ礼ハ敬ヲ以テ要トス故ニ人ノ父ヲ
敬スレハ其子タル者皆悦フナリ人ノ兄ヲ敬スレハ其弟
タル者皆悦フナリ人ノ君ヲ敬スレハ其臣タル者皆悦フナリ
然レハ人ノ父人ノ兄人ノ君ヲ敬スレハ其子其弟其
臣千萬人アリトモ皆コレヲ悦フコレ敬スル所ノ者寡ク
シテ悦フ者衆キナリコレヲ要道ト云所以ナリ

餘論

此章ハ上章ヲ承テ孝悌ハ教ノ本ナル所以ヲ言ヒ因テ
又礼樂ハ教ノ要ナルヲ云フ礼ハ敬ヲ以テ主トス故ニ敬
ノ功用ヲ推廣メテ父ヲ敬スルノ重キヲ示スナリ

孝經

自曾子曰甚哉孝之大也至不嚴而治
大意

此章ハ經文順天下トイヘル句ノ心ヲ説キタルナリ
解義

曾子孔子ノ孝ヲ説キ玉フヲ聞テ甚哉孝之大也ト
賛美セラレタリ因テ孔子重子テ孝ノ大ナルヲケ
テ説キ玉ヘルナリ經ハ常ト云シ義ナリ天之經地之義
トハ天地ノ常義ト云カ如レ故ニ下文天地之經而民
是則之トイヘリ人ハ天地ノ氣ヲ受テ生レ天地ノ性
ヲ得テ性トス天ハ萬物ヲ生レテ慈愛ヲ徳トシ地ハ
天ニ承テ萬物ヲ養ヒ恭順ヲ以テ徳トス慈愛恭順ハ
天地ノ常性ニシテ人コレニ則トル所ナリ又聖人天地ノ明
常義ニ則トリ玉ヒ孝順ヲ教ヘテ天下ノ人心ヲ順ニシ玉フ

コレ天地人心自然ノ徳ニ因テコレヲ道キ玉フ是ヲ以テ
其ノ教戒肅ヲ待タスシテ自ラ成就シ其政威嚴ヲ用
ヒスレテヲノツカラ治ミルナリ

餘論

此章ハ孝ハ全ク人爲ニ出ルニ非ス人天地ノ性ヲ受テ
生レ天地ノ常道ニ則トル月リナリ故其教速カニ成リ
天下ヲノツカラ和順ナルヲ云ナリ

孝經

自子曰昔者明王至四國順之
大意

此章先王孝道ヲ以テ天下ヲ治メ玉フトモハ民用和
睦ニ上下無怨ノ意ヲ云

字訓

田 小國ハ領地褊小コレテ五十里ニ足ラサルヲ附庸ト云
附庸ノ國ヲ小國ト云ナリ老テ無妻ヲ鰥ト云老テ無
夫ヲ寡ト云臣妾ハ家臣ノ男女ヲ云災害ハ水旱疾
疫ノ類天ニ生スル者ヲ云禍乱ハ賊君弑父カ如キ人ニ
作ル者ヲ云凶見ハ大ナリ

解義

昔シ明德アル王者ノ孝ヲ以テ天下ヲ治メ玉フハ其父母ヲ
愛敬スルノ心ヲ推シ及ホレテ敢テ小國ノ臣ヲモ遺レ玉ハス

猶恩義ヲ施コレ玉フ而ルヲ況ヤ公侯伯子男ノ大國ニ
於テハ尚更ノ事ナリ故ニ萬國皆天子ノ御徳ヲ
歡ヒ慕フコレヲ萬國ノ歡心ヲ得ルナリ萬國
皆歡フトキハ敢テ背叛スル者ナレ天下安寧ニシ
テ其先王ニ事ヘ宗廟ノ祭祀ヲ奉レ玉フコレ天子ノ
孝ナリ治國ハ一國ヲ治ムルナリコレ諸侯ノ孝ナリ亦
其父母ヲ愛敬スルノ心ヲ推シ及ホレテ敢テ親寡
孤獨ノ六躬民ヲモ侮リテ麁略ニレ玉ハス而ルヲ況ヤ
士ト民ト於テハ尚更ノ事ナリ士ハ卿大夫ヲ兼テ云
民ハ農工尚賈ナリ百姓ハ一國士民ヲ奉テ云
一國士民皆歡テ一人モ其月叛ル者ナク然レテ後
安シレテ其先君ニ事ヘ玉フコレ諸侯ノ孝ナリ
治家ハ卿大夫ナリコレ又其父母ヲ愛敬スルノ心ヲ
尚更ノ事ナリ故ニ一家ノ人ノ歡心ヲ得テ家内睦シク
其親ニ事フコレ卿大夫ノ孝ナリ夫レ然リ故ニ親在ケル
トキハ心ヲ安シレテ子ノ養育ヒテ受ケ死シテ後祭ルトキ
ハ鬼神其祭リリ受ルナリ是ヲ以テ天下悉ク知ラキ
平カニテ天ヨリ降ル災害モナク人ヨリ作ル禍乱モ生
セス昔シ明王ノ孝ヲ以テ天下ヲ治メ玉フヲ如此コレ天
子コレヲ上行ヒ玉フニ諸侯以下皆化シテコレヲ下ニ
行フナリ詩ニ天子大ナル徳行アレハ四方ノ國ニ皆頌
ヲ行レ之トアル此意ナリ

子經一

自曾子曰敢問聖人之德至其所因者本也
大意

此章ハ父ヲ尊敬スルノ極メテ大ナルヲ言ヒ且經文
孝ハ德之本也ノ意ヲ歟ス

字訓

四般ハ尊敬ナリ配ハ配享ナリ天ト合セ祭ルヲ云リ

解義

曾子既ニ明王孝ヲ以テ天下ヲ治メ玉フ效極メテ
大ナルヲ聞キ聖人ノ德又孝ヨリ上ニ加ルモノハ無
キヤト問ハレシナリ天地ノ性人為貴トハ凡人天地ノ
氣ヲ受テ生レ天地ノ性ヲ得テ性トス萬物ノ内
ニ於テ最モ貴シトスナリ而人ノ行ヒニ於テハ孝

又孝ハ父ヲ敬スルヲ貴フ故ニ孝ハ父ヲ尊敬スル
ヨリ大ナルハナク又父ヲ尊敬ニスルハ天ニ配享スルヨ
リ大ナルハナキナリ周公ハ周ノ文王ノ子武王ノ弟ナリ
周公禮ヲ制シテ父文王ヲ以テ天ニ配シテ紀ツリ玉フ
故ニ周公其人ナリトイヘリ后稷ハ周ノ始祖ニテ舜ノ時
始テ部ト云所ニ封セラレテ諸侯トナラレタリ昔ン
周公禮ヲ定メ玉ヒし時南郊ニ於テ天ヲ祭リ其
始祖后稷ヲ以テコレニ配シテ祭リ玉ヒ其父文王ヲ
明堂ニ於テ祭リコレヲ上帝ニ配シ玉ヘリ明堂ハ
出政ノ堂ニシテ郊ニ非ス宗廟ニ同キユコレヲ宗祀
トイヘリ后稷文王ヲ祭テ天帝ニ配シ玉フトキ其
父祖ヲ尊敬スルヲ天ト同キナリ其父祖ヲ尊敬シ
テ其至リシ極メ玉フ是ヲ以テ四海ノ内諸侯皆其存

徳ノ篤キヲ感シ各其職分ヲ脩メ其國中ノ物
ヲ貢シテ來テ其祭ヲ助ケラルナリ其徳如此
大ナリ又何ヲ以テカ孝ノ上ニ加ル者アラシヤ故親生
之膝下ヨリ以下ハ更ニ孝ハ徳ノ本ナルワケヲ説
ケリ親ハ父母ナリ子初^生知ナル時ハ父母ノ膝下ニ於
テ生養スル此時ハ父母ヲ敬スルヲ知ラス唯コレヲ
親愛スルノミナリ長シテ父母ヲ養フニ及ンテ日
ニ父母ヲ敬スルヲ知ルコト父母ハ家ノ尊長ナレハナ
リ聖王人其父母ヲ尊敬スルノ意アルニ因テ敬ト云
フシ民ニ教ヘ玉ヒ其父母ヲ親愛スルノ心アルニ因テ
民ニ愛ト云フヲ教ヘ玉フ是故ニ聖王人ノ教ハ戒肅
シ加^特以テ成リ其政ハ威嚴ヲ加ヘスシテ治ルハ天
理人性ノ本ニ因ルカ故ナリ

孝經
自子曰父子之道天性至謂之情礼

大意
此章ハ經文教之所由生ノ意ヲ説クナリ

字訓
續ハ連續シテ絶ヘサルノ意情ハ逆戻ナリ

解義

父子之道天性トハ天性ニ得タル自然ノ道ヲ云即
親愛ヲ云ナリ君臣之義トハ一家ニ於テハ父尊シ
子卑シヤノリカラ君臣ノ義アリ即尊嚴ヲ云父母
生之トハ氣ハ父ニ受ケ形ハ母ニ成ルヲ云續莫大
焉トハ其體連續離^レ離ルヘカラス其義大ナル
ト云君親臨^之トハ君ノ尊ト父ノ親トヲ兼テ上ニ
ルヲ云臨ハ上ヨリ下ヲ視ルナリ君臣ノ義ハ父子ノ親

兼又曰恩義ノ百子キテ是ヨリ重キハナキナリ
其身ハ父母ニ連續シテ離レカラス其恩義ハ
君臣シ兼又國ヨリ他人ノ比スヘキニ非ス然ルシ不愛
其親シテ愛他人者ハ天理ニ戻リ逆フ者ナリ不敬
其親シテ敬他人者コレ亦天理ニ戻リ逆フ者ナリ
悖徳ノ徳ノ字ハ愛リ主トスコレ親字ニ就テ説ク
悖礼ノ礼ノ字ハ敬ヲ主トスコレ嚴ノ字ニ説クナリ

餘論

父母ハ我カ身ノ本ナリ本ハ一ニシテ二アルナリ故ニ
我親ヲ愛敬セスシテ他人ヲ愛敬スルコレ天理ニ
戻ル者ト云ヘキナリ

大意

此章ハ經文ノ始於事親ヨリ不敢毀傷ノ意ヲ叙スルナリ

解義

孝行ナリ子ノ親ニ事ルハ居ルハ則致其敬居ルトハ平
居無事ノ時ヲ云ナリ致スハ推シ極ムルナリ平居無事
ノ時トイヘ凡常ニ其恭敬ノ心ヲ推シキハメテ一モ
慢易麁略ニスルナキナリ養良ヲトハ飲食奉養良ノ
時ヲ云ナリ樂シトハ親ノ心和樂シテ歡喜ト安コレ玉フ
ヤウニスルナリコレハ其口ヲ養フノミナラス又其心ヲ
養良フナリ又親病ヒアル時ハ常ニ其憂ヒ氣ツカフ
心ヲ極メテ種々省病療養良ヲ盡クレ親死シテ其喪
ニ逢フトキハ其哀戚ノ情ヲ極メ祭ルトキハ其嚴敬ノ誠

ヨ極ハ能ク此ノ五ツノ者備リテ缺ルテナク然レテ後能
事其親トイフヘキナリ又事親者ハ人ノ上ニ居テハ驕
我カニシテセズ莊敬ニシテ下ニ臨ム人ノ下トシテハ法
度ヲ背キ乱ラズ恭謹ニシテ上ニ事フヘシ醜類多人
数ノ中ニ在テハ随分和順ニシテ爭論スルテナカルヘシ
人ノ上ニ驕ルハ人死ニ背ヒテ終ニハ身ヲ止スニ至リ
人ノ下トシテ法ヲ乱ルハ罪ヲ得テ刑罰ヲ被ル醜
類ノ中ニ在テハ爭ヘハ兵刃ヲ以テ傷ツキ殺サルニ至ル故ニ此
三ツノ者ヲ除ヒテ無キヤウニセカレ我カ身禍ニ遇フヘシ
チラス其憂ツイニ親ニ及フナリコトヲ以テ日ニ牛羊豕
ノ三性ヲ具ヘテ親ヲ養フトイヘ氏孝トハイフヘカラ
ス猶不孝トスヘキナリ

ノ不善ナル者ヲ戒シメタルナリ五者備ル能事親
三者不除猶為不孝相對シタル者ナリ

孝徑ノ一
自子同五刑之屬三千至何日忘之

大意

此レハ傳ノ八章九章ナリ八章ハ上章ヲ承ケテ不敢毀傷

ノ意ヲ述ヘ九章ハ經文中於事君ノ意ヲ説ク

字訓

五刑ハ墨劓剕宮大辟ナリ墨ハイレ墨ナリ劓ハ鼻ヲ截ルナリ剕ハ趾ヲ斬ルナリ宮ハ隱刑ナリ辟ハ法ナリ大法ハ死刑ヲ云ナリ要ハ朱子曰有挾而求也將ハ助ルナリ遐ハ朱子曰何ト通スナリ同レ

盡心ヲ忠トス

解義

五刑ハ唯五ナリ五刑ヘ属スル所ノ罪ハ其教ニ千條アルナリ三千ノ中ニテ其罪不孝ヨリ大ナルハナキナリ君ハ臣ノ命ヲ受クル所ナリ然ルヲコレヲ要シシヤカ賀スル上ヲ無キモノニスルナリ聖人ハ法ノ出ル所ナリ然ルヲコレヲ非議スルハコレ法ヲ無キモノニスルナリ親ハ身ノ本ナリ人ニ於テ親ホト大切ナル者有ハトシ然ルヲ孝子ヲ非ル者コレ親ヲ

車^上トアル上ハ君ヲ云ナリ進ニテ君ノ御前ヘ出テハ詞ヲ盡シ心ヲ盡シテ君ノ御為メニナラニテヲ思ヒ又御前ヲ退ヒテ家居スルオハモレ君過失アラハ重テ出ルトキ諫正シテ其過ヲ補ヒ救ハンコト思ヒ君美事アレハ必助ケ成レテ其美ニ順ヒ君惡アレハ必匡レ救テコレヲ止シム君子ノ君ニ事ルテ如此故ニ君其忠ヲ悦ビ玉ヒテ上下能相親ムナリ詩ニ所謂心ニ君ヲ愛スル者ハ君ノ御為メニナルコト何ソ謂ハサラニヤ君ノ事ヲ中心ニ藏メテ常ニ大切ニ思フ者ハ何レノ日カ君ヲ忘レシヤ此詩ヲ引テ上ノ文ヲ證スルナリ

孝徑

自子曰昔者明王至無思不服

大意

此章ハ天子ノ孝道ヲ説キタルナリ

解義

天地ハ萬物ノ父母ナリ故ニ易ニ乾ヲ父ト稱シ坤ヲ母ト
稱ス父ニ有天道母ニ有地道モ亦此義ナリ是ヲ以テ
昔ノ明王父ニ事ヘテ孝道ヲ盡シテ其恩ニ報ヒ玉フ
其心ヲ以テ天ニ事ヘテ祭祀シ其恩ニ報ヒ玉フ其意同キニ
ヨノツカラ明カナリ母ニ事ヘテ孝道ヲ盡シ其恩ニ
報ヒ玉フ其心ヲ以テ地ニ事ヘテ祭祀シテ其恩ニ報ヒ
玉フ其意同キモ亦明ナリ察モ明ナリ父母ニ事ル道ヲ推

テ天地神明ノ徳顯ハルナリ天子ハ尊貴ノ極ナリ然レ
在尊位ニ玉フテアリコレハ父アルヲ言フナリ必ス先シテコレ
ニ順ヒ玉フテアリコレハ兄アルヲ言フナリ宗廟ニ於テ
祭祀シテ敬ヲ致シ玉フハ親ノ恩ヲ忘レ玉ハサルニヘテ
脩身慎行テ驕敖惰慢ノ行ナキハ行義缺ルテ有テ
先祖ヲ辱シメ^目ニテ^目恐レ玉フカエヘナリ宗廟祭
祀敬ヲ致シテ先祖鬼神ノ徳ニスレ^目著ハル^目孝
悌ノ至リハ其誠自ニ見ヘ又神明ニ通シ明カニシテハ四海
ノ外ニテ輝リ耀ヒテ通セカ^目所ナキナリ詩ニ所謂ル東西
南北思テ感服セサル者ナキト云ヲ引テ上ノ文ヲ賛美
セシナリ

論

天子ハ繼天テ作^レ子^ハ天^ノ父トシ地ヲ母トス其天地ニ事ル
所以^レ道ニ事^ル父母ノ道ト殊ナラス天人幽顯ノ道ニ事^ル
故ニ能人ニ事ルルキハ則能ク神ニ事ルナリ孝悌ノ至
リハ神明ニ通スヘク四海ニ光ルヘシ此章天子ノ孝
道極メテ大ナルヲ賛^シ言ヘルナリ

孝經ノ一

自子曰君子之事親至猶百姓徒役也

此章傳ノ十一^ノ章^ノ十二^ノ章^ノナリ前章ハ經文ノ立身揚
名^ノ及ヒ士ノ孝^ノヲ叙シ後ノ章ハ前章ヲ承ケテ治國ノ
道一家ノ内ニ具ハルヲ云ナリ

解義

前ニモイヘル如ク親ニ事ルト君ニ事ルトハ其道同じ故ニ
君子ノ親ニ事ルル^ニ道ヲ極ムルニ其心ヲ移ワシテ君
ニ事ルルハ必ス忠ナリ移ストハ此ニ在ル者ヲ彼コニ移スヲ
云ナリ又兄ニ順フト長上ニ順フト其理ハ同^シ故ニ君子
ハ兄ニ事ヘテ^{能ク}悌ノ道ヲ盡スユヘニ其心ヲ移ワシテ廣ク
長上ニ事ルルハ必順ナリ家ヲ治ルト國ヲ治ムルト大小
ノ違ヒナク^シ凡^ソ其理ハ同キナリ故^ニ君子ハ家ニ居テ能ク
理ムル^ルハ其心ヲ移ワシテ官^ニ事^ルヲ理ムルハ能ク治ムル
ナリ家ニ在テモ孝悌ニシテ能ク治メ國ニ事ヘテモ忠順ニシ

又能官ヲ治ハ是ヲ以テ其行トハ一家ノ内ニ成テ其名ハ
廣ク世トシテ顯ハレ後世ニテモ立ナリ立トハ勤カ又ト意
ナリ後世ニ殘リテイツコテ止マサルヲ云ナリ闡門ハ裏
向キノ門ナリ闡門ノ内ハ家内ヲ云ナリ一家ノ内小ナリト
イハレ一國ヲ治ルノ禮具ハナリ父ヲ尊嚴ニスルハ君ノ
道アリ兄ヲ尊嚴ニスルハ長上ノ道アリ妻不臣妾ハ皆
我カ命ヲ聽クモノナリ一國ニ於テ百姓徒役ヲ使フト
同レキナリ徒役ハ奔走シテ役事ニ供スル者ヲ云ナリ

箴論

一家ヲ治ルト一國ヲ治ルト其道ハ同レ故ニ前章ハ一家ノ
道ヲ以テ一國ニ移スヲ云ヒ後ノ章ハ治一國ノ道一家ノ
内ニ具スルヲ云ナリ

孝經

自曾子曰若夫慈愛恭敬至又焉得為孝乎
大意

曾子曰孔子ノ孝道ヲ説キ玉フヲ聞テ孝ノ事ハ
悉ク分リタルユヘ更ニ不審ヲ設ケテ孝ハ親ニ順
フテ逆ハカルヲ道トス然レハ親ノ申スルハ善惡ヲ問ハス
テコレニ順フヲ孝トスルカト問ハレユヘ孔子善惡ヲ
問ハスレテコレニ順フハ孝トセラレサルヲケヲ説キ玉フ
ナリ

義

若夫慈愛恭敬安親揚名カクこれハ皆前見ヘ
タル所ナリ是等ノ如キハ參私既ニ教命ヲ聞テ合意
ニイリタリ敢問父之申レ付ルコトハ善惡ヲ問ハスレ
テコレニ從フヲ孝ト申スヘシヤト問ハレシナリ令ハ申レ
付クルト云義ナリ子曰是何言ナク與トハ是ハドウイフ
申シ令ゾヤト其言ノ當ラサルヲ答メ玉フナリ親ノ
申スコトハ善惡ニ拘ハラレテコレニ從フオハコレ父
ヲ不義ニ陷ルナリ故ニ昔シ天子ニハ不義アルトモハ
諫メ争フテコレヲ止ムル所ノ臣下七人ホドモアリテコ
レヲ正スユヘ無道ナリトイヘ凡天下ヲ失ヒ玉フニ至
ラサルナリ諸侯ニ諫メ争フ所ノ臣下五人ホドモアル
時ハ無道ナリトイヘ凡其國ヲ失フニ至ラス大夫ハ諫
メ争フ所ノ臣下三人ホドモアル時ハ無道ナリトイヘ凡
其家ヲ失フニ至ラス士ハ諫メ争フ所ノ臣下二人ホドモ
アル時ハ無道ナリトイヘ凡其身ヲ失フニ至ラス小人ハ
諫メ争フ所ノ臣下一人ホドモアル時ハ無道ナリトイヘ
凡其命ヲ失フニ至ラス

如此イヒタル者ニテ其實ハ必シモ其數ニ拘ハラサル
ナリ士ハ臣ナシ朋友ヲ頼ムヘシ朋友アリテ其不義ヲ
争ヒ止ムルコトハ身善良ノ名ヲ失ハス人ニ誹ラルコト
ハナキナリ令ハ善ト云義ナリ又父ハ不義アルトモ争ヒ
止ムルトコロナ子アルトモ身不義ニ陷ラサルナリ故ニ父
不義アルナ子父ニ對シテ諫メ争ハスルハアルヘカラス
臣モ亦君不義アルナ君ニ諫メ争ハスルハアルヘカラス
ス故ニ不義アルニ當テハ子固ヨリ父ニ諫メ争ハスヘシ
然ルリ善惡ヲ問ハスレテ父ノ申シ付ケニ從フコトイ
ワクヒソク孝トスルコトヲ得ンヤ

論

人ノ大倫五アリ而シテ君臣父子ヲ首トス朋友モ亦

其中ニアリ君臣朋友ノ義ヲ以テ合フ者ナリ故臣ノ君
ヲ諫ルニヒテ諫メテ聽カレハ則チ去ルノ義アリ朋友ニ
又忠告シテ之ヲ善道シ不可則止ルノ義アリ父子ハ
一躬ナリ離ルヘカラス故ニ父母ニ事ヘテハ箴諫スヘ
シ志ノ不從ゾ見テハ又教シテ不違勞レテ不怨
起テ起テ悦フ寸ハ復諫ム從ハサレハ終ニ止ルノ義ナ
シコレ又ト君ト異ニス所以ナリ

孝子曰孝子之喪親哭不偯至終
大意

此章が孝經ノ終ナル喪祭ノ礼ヲ謹ムコトヲ説キ末ノ一
節ハ此書ノ大意ヲ統ヘ言テ以テ一篇ノ終リヲ結フ
ナリ

字訓

偯ハ委曲ノ声ナリ不偯ハ委曲ナルコト能ハサルナリ文ハ
文飾ナリ容ハ容儀ヲ為スナリ毀ハ毀瘠ナリ内ニ在
ル棺ト云外ニ在ルヲ擯ト云身ヲ斂ルヲ衣ト云尸ヲ覆フ
ヲ衾ト云擯ハ白月ヲウツナリ踊ハヲトルナリ墓ノ穴ヲ
宅ト云墓域ヲ兆ト云厝ハヲクナリ

解義

親既ニ死シテ孝子ノ親ノ喪ニ居ルハ哀戚甚クシテ
哭スルニモ自然ト声モ委曲ナルヲ能ハサルナリ礼ヲ行
フニモヲノツカラ容儀ヲナスヲ能ハス美ナル衣服ヲ
着テモ心安スカラズ音樂ヲ聞テモ心樂シトス味
ノヒ目キ物ヲ食フテモ甘シト思ハスコレ哀戚ノ情
甚クシキニヘナリ親死シテ三日ニテハ食ヲ食ハス食
シテモ甘セサルカ故ナリ三日ニシテ始メテ粥ヲ食フハ
三日ヲ過テモ食ハカレハ飢ヘテ我カ生ヲ傷ルナリ故ニ
三日ニシテ食スルハ天下ノ民ニ親ノ死スルヲ以テ我カ生ヲ
傷ルヲ無キヲ教ルナリ喪ニ居ル者ハ苦ニ寝テ塊ヲ
枕トシ身ニハ衰麻ノ衣ヲ服シ三日食ハス始メテ食フ者
ハ一溢米ノ粥ヲ食ス故ニ自然ト瘠スルナリ然レバ瘠セ
ルナリコレ聖人中正ノ政ナリ孝子ノ親ヲ哀ム其情ハ
固ヨリ限リナシ然レバ喪ニ過三年ハ民ニ終リ有ルヲ
示ス所以ナリ親ノ始メテ死スル寸棺槨ヲ作りテ其身
ヲ藏メ衣食ヲ作りテ其身ヲ周ラシ其尸ヲ奉テコレ
歛之葬ルニ及ニテハ簠簋ヲ陳テ食ヲ供フ而シテ親
ノ形ヲ見ス故ニ哀戚ス女ハ母子ノ泣キ男ハヨトリ哭泣シテ
コレヲ送り其墓所ノ吉凶ヲ卜シテ親ノ形ヲ安シテコ、
ト厝ク其後宗廟ヲ家ノ尤ニ作り鬼神ヲ以テ享之
追々春秋ニ祭祀シ時ヲ以テ其親ヲ思フ此レニテハ親死
シテ後喪祭ノ礼ヲ奉レク説キタルモノナリ生事愛
敬以下ハ此書ノ大意ヲ統ヘ言テコレヲ結フナリ親存生
ノ時ハ愛敬ノ道ヲ盡親死スルトキハ哀戚ノ情ヲ極ハム生民

ノ道ハ孝悌ヲ為本孝悌ノ一此書コレヲ盡クセリ
養生送死モ亦此書ニ於テ其義備ハレリ此ニ至リ
テハ孝子ノ親ニ事ル一其道終レリト此一管簡ヲ結ヒ
以テ

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, likely a commentary or continuation of the main text.]

